

途中入団だけど、 いまからでも楽しめる？

—そんな不安に答えます—



理工学部物理学科 3年

鈴木飛良

1

(※このインタビューは、昨年収録されたものです)

—途中入団されたということで、インタビューさせていただきます。最初に自己紹介をお願いします。

鈴木：鈴木飛良（すずきたから）です。理工学部物理学科3年です。パートはテノールです。

—中高はどのような部活に入っていましたか？

鈴木：中高一貫だったので、そこで卓球を5年くらいやっていました。

—では、合唱経験は？

鈴木：合唱は、クラスで内輪でやるってときにやってたぐらい。僕はピアノをやったおかげで楽譜は読めたから、普通に音は取れてた。ピアノのおかげで人より苦なくクラス合唱を楽しめてた気がする。

—そうだったんですね。大学入学してからずっと楽友に所属していたわけじゃないと思うんですけど、楽友に入団した時期はいつ頃なんですか？

鈴木：入団した時期は、2年の4月の新歓期。

—2020年の新歓はコロナ禍で色々大変だったと思うんですが、その時期に楽友会に入るきっかけみたいのはあったりしますか？

鈴木：きっかけは新歓期よりさらに前、2019年の10月か11月のことかな。NHKのうたコンに、バックコーラスとして楽友会が出てたんだよね。その時期には、以前入ってたサークルはもう抜けてて、サークルに入っていない状態で2年生になるのはまずいなって思いながら過ごしてたら、NHKで見つけて。合唱にそんな嫌な思い出もないし、割と好きな方だから、じゃあ合唱やってみるか！と思って。4月に入ろう！と。

—じゃあその時期には、もう4月になったら入ろうというのはある程度決まってた。

鈴木：ある程度決まってた！その時期にホームページ見て、新歓の雰囲気を感じてから入団しよう



理工学部3年鈴木飛良

と思っていたけど、2年の春に入ろうっていうのは決めてた。

—そうなんですね。ちなみに以前入っていたサークルって何ですか？

鈴木：矢上祭実行委員会っていう委員会に入ってた。KEI0 2020 っていうオリンピックのキャンプをサポートする団体は今でも入ってる。矢上祭の方は10月でやめちゃった。

新しく入ってきた人を拒絶する雰囲気はない

—1年の秋に入団を決めて、2年の春に入ったわけじゃないですか。途中入団で、入りにくいとか気まずさを感じたことってありますか？

鈴木：最初はコロナ禍の影響もあって、なかなか距離が縮まらなかった。食事も禁止されてたし。今年の環境の特別さっていうのもあると思うけどね。

—9月から全体での対面練習が再開してそこから12月の定期演奏会までの間に、何か変化はありましたか？

鈴木：そのころには結構話せるようになってた。当初は内輪的な話題についていけなかったらどうしようって思ったけど、よく話しかけてくれたり質問に丁寧に答えてくれる同期にも恵まれて、本当に良かったと思う。対面が始まってからはAグループだったから（※感染対策のため、3グループに分かれて時間をずらして対面練習をしていた時期もある）、そこで話した先輩の方が先に仲良くなった。発声で分からないところがあって聞いたら、先輩は絶対に親切に答えてくれるから、そこは安心した。楽友会は新しく入ってきた人を拒絶する雰囲気はないし、馴染めるかなって気にかけてくれる人もいるから、最終的には馴染んでいけそうかなって。

合唱経験は不問の団体だから、途中入団だからといって気負う必要はないよね

—途中入団を考えている人が知りたいことって何だと思いますか？

鈴木：僕が不安だったのは厳しさかな。楽友のことを知っている友人に聞いたら、『あそこは結構ガチだぞ』って言われてたから。確かにガチと言えばガチだね。週3で3時間だし。

—そうですね。そこについて実際に入ってみてどのように感じましたか？

鈴木：うーん、団員個々のスケジュールは尊重されるっていう安心感はあるよね。どれだけコミットするかも自分次第。あと伝えたいことは、合唱の上達をどうサポートしてくれるかということ。多くの人は未経験で入るわけだし、途中入団だから遅れをとっているわけじゃん？だけど、練習の中でまじめにやっていたらちゃんと上手くなるし、合唱経験は不問の団体だから、途中入団だからとい

って気負う必要はないよね。あとは、途中入団者がどれくらいいるかとか？

—そうですね。例年数人いますが、途中入団だと分からないほど馴染めている気がします。最後に、途中入団を検討している在校生にメッセージをお願いします。



鈴木：楽友会は、途中入団者も大歓迎してくれます。合唱経験の差に身構える必要は全くなくて、合唱が好きであれば、楽友会の人を受け入れてくれる。だから、全く不安に思わないでほしい。楽しいので、本当に。1年の時に入れなかったという心のハードルを越えて入ってくれるわけだからそれは非常に勇気ある決断だと思うし、すごいことです。安心して楽友に入ってきてください。

—ありがとうございます。以上でインタビューを終了します。

鈴木：ありがとうございました。